

## 「台風予報の図表示方法の指針」の一部修正について

本年3月に定めた「台風予報の図表示方法の指針」について、表示する線種を特定するような表現部分について、より自由度を広げるように改めるなど、文章の表現上の一部修正を行います。

修正を行った指針を別添に示します。

### <修正点について>

箇所	修正前	修正後
2.(2)③ 誤解なく、 わかりや すい表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暴風警戒域を実線で、予報円を破線で表示する。</li> <li>・暴風警戒域は、さら・・・代えて、これら円の通過する範囲を実線で表示できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暴風警戒域の円と予報円をそれぞれ区別できるように表示する。</li> <li>・暴風警戒域は、さら・・・代えて、これら円の通過する範囲を線で表示できる。</li> </ul>
2.(2)④ 付加的な 情報の表 示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予報円の中心を結ぶ線を破線で表示できる。</li> <li>・ただし、台風の中心がこの点や線上を進むかのような誤解を招かないよう、適切な解説を行うこと。例えば、「予報には誤差があり、台風が予報円の中心点やそれを結ぶ線の上を通るとは限らないことに留意願います。」と解説する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予報円の中心を結ぶ線を表示できる。</li> <li>・ただし、予報には誤差があるため、台風が予報円の中心を通るとは限りません。例えば、「予報には誤差があり、台風が予報円の中心を結ぶ線の上を通るとは限りません。」「台風の中心は、○時には予報円の円内に達する見込みです。」などと解説する。</li> </ul>
サンプル 1及び2		3頁及び4頁の図の脚注に、「右下の注釈は、文字又は音声により解説する。」を追加。